



さとやま

5月に見られるいきもの



オカタツナミソウ

里ではゴールデンウィーク頃、フジの花が咲いていますが、その後ハンノキ広場ではエゴノキの白い花が咲き、足元に目をやると、写真のようなオカタツナミソウの花が、トンボの里の竹林を彩ります。トンボの里の池には、ゴウソの群生が穂を出しているのが見られます。また、小川沿いの道では、アサヒナカワトンボに出逢うことがあります。

万灯山へ向かう道では、あちこちでテイカカズラの花が咲く中、足元に大きなキリの花や、サクラの葉で作られたオトシブミのゆりかごが落ちているのを見つけることができます。

万灯山山頂付近では、4月から咲き続けているヤマツツジに、モチツツジの花が加わります。

少し汗ばむハイキング日和の1日、こんな生き物を探して里を散策してみませんか。



フジ



エゴノキ



ゴウソ



アサヒナカワトンボ



キリ



オトシブミ



ヤマツツジ



モチツツジ

里の生き物紹介

テイカカズラ

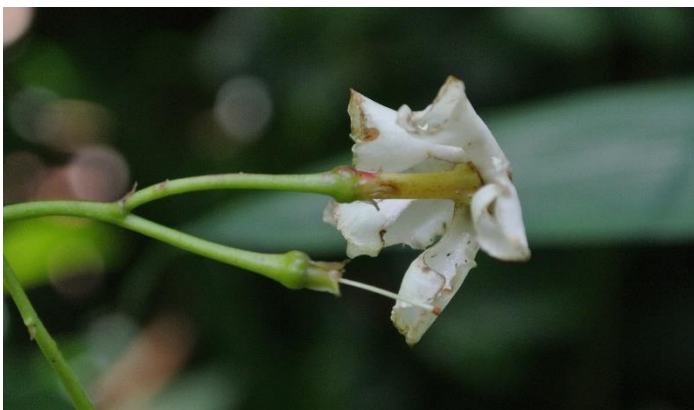
5月、里では、里山エリアの上の道や、杉並木、万灯山へ向かう道などで、テイカカズラのプロペラのような花が見られます。



テイカカズラは、キョウチクトウ科に分類されるつる性常緑低木です。花期は5月～6月頃で、茎から気根を出し、樹木などに絡みついて、多数の花をつけます。その姿から、藤原定家が成就しなかった恋の執心で蔦葛になり、式子内親王の墓に絡みついたという伝説にちなんで名が付けました。

枝や葉を切ると毒のある白い樹液が出ます。誤って口にすると麻痺・嘔吐等の症状が出る場合があります。葉や茎を乾燥したものを、漢方で「絡石（らくせき）」と呼び、煎じて解熱・強壮などに使用します。

水やりを欠かさなければ日陰でもよく育ち、肥料は必要ないため、生垣として、斑入りなど、主に葉を鑑賞するために利用されています。



花は、花弁は白色で根元が筒状で先が5つに分かれています。花弁の巻き具合の変化で様々な姿に見えます。甘い香りがあり、咲き進むとクリーム色になるものもあります。

花が終わると、花弁が抜け落ち、雌しべと子房が残ります。



8月頃



10月頃



果実は細長い袋果で、2個が1対になってぶら下がります。夏頃になって成長するとわかるようになります。

ところがそれとは別に、秋になると2つに割れずに先端でくっついて丸い果実のようになったものが付いているのを見つかることがあります。割ってみると中には写真のような黄色いウジ虫が見つかります

これはテイカカズラミサキフクレフシと呼ばれる虫こぶで、中に入っていたのは、[テイカカズラミタマバエ](#)の幼虫です。このあと虫こぶを脱出し、地中に入り繭を作り越冬します。毒のある植物に寄生する虫がいるのは驚きです。



11月頃



12月頃



実は、秋が深まると赤く色づき、熟して乾燥すると2つに割れ、中にぎっしり詰まっていた種子が飛び出します。種子にはタンポポのような綿毛がついていて、風に乗って飛んでいきます。この綿毛ですが、タンポポは集合花の1つ1つの花のがくが変化したもので、テイカカズラは1つの花からできた複数の種子についているものなので、起源が全く違います。起源が違うのに同じような姿になるというのは不思議ですね。

こうして、テイカカズラの種子は付近一帯に広がっていきます。山道沿いの下草に、写真のような中央の葉脈が白い小さな葉がたくさん見られるのですが、これは全てテイカカズラです。この中で、樹木などを登って葉が大きくなり、日当たりの良いところに出られたものだけが花をつけることができます。



フユイチゴと
テイカカズラの種子



4月の行事紹介



講座「春のタケノコ掘り」を4月3日(土)と11日(日)の2日間にわたり開催しました。

講師は、当園を熟知した職員です。タケノコはとても生長が早く、直ぐに「えぐみ」が出てしまうため、タケノコ掘りは朝がおすすです。

竹林に出かけ、足でタケノコを探ります。タケノコの周りには細い根っこがたくさん生え、鍬を使い周りを掘りながら根っこを切ります。そして、赤い斑点の下にねらいを定めて鍬を振り下ろします。鍬の歯が「ぐっぐっ」とタケノコに入ったら、テコの原理で「ぐいぐい」と上下させて掘り起こします。

よい体験ができ、掘り方のコツを学びました。

5月の行事予定

23日(日) 【予備日:30日】	棚田で稲作しようⅠ(田植え)	30名	AM9:30~11:30	当園職員
---------------------	----------------	-----	--------------	------

※この講座は、原則3回の講座のため、少なくとも2回受講できる方に限り「お米」をお渡しできます。

6月の行事予定

6日(日)	シロツメグサで花冠づくり	20名	AM9:30~11:30	河江喜久代
20日(日)	やさしい苔玉教室	20名	AM9:30~11:30	長谷部弥生

◆参加受付は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順で来園、または電話にて受付します。また、お申込みは本人、もしくはそのご家族までとします。

◆参加申込者は傷害保険に加入のため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。

◆天候や少数(6名以下/1講座)、コロナ禍などにより「講座の中止・延期」、または「受講内容の変更」する場合があります。

◆原則、参加費は無料ですが材料費などは実費を申し受けます。

◆詳細な講座の内容などは、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

西尾いきものふれあいの里

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始[12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部環境保全課